

薬

2025年11月作成

動物用医薬品

500mL

貯法: 遮光して2〜30℃
有効期限: 製造後3年3か月間

動物用生物学的製剤
創薬 指定医薬品

承認指令番号 7動薬第1930号
販 売 期 間 2026年5月

オーシャンテクトLG

「経口用」

(一般的名称)ぶりα溶血性レンサ球菌症(酵素処理)不活化ワクチン

有効成分(ワクチン1本中)
ラクトコッカス・ガルビエTE9501株不活化菌
総菌数2.5×10⁸個以上

注意・指導機関(家畜保健衛生所、
魚病指導総合センター、水産試験場等)
の直接の指導を受けて使用すること。

製造番号

最終有効年月

使用説明書

(使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。)

【本 質 の 説 明 又 は 製 造 方 法】

本剤はラクトコッカス・ガルビエ(α溶血性レンサ球菌症原因菌)の培養菌液を遠心集菌後、再浮遊して得た菌液を酵素処理し、リン酸緩衝液を加えた後、ホルマリンを加えて攪拌後に静置して不活化したものである。本剤は、静置すると褐色の上層液と僅かに褐色を帯びた白色層に分かれ、振り混ぜれば帯濁白色、不透明の均質な懸濁液となる。ただし、成分からなる微細な白色ないし黄色の凝固塊を含む場合がある。pHは6.4〜7.4である。

【成 分 及 び 量】

ワクチン100mL中:ラクトコッカス・ガルビエTE9501株不活化菌総菌数5×10⁸個以上、ホルマリン0.3mL以下、リンゾーム3.0g以下、20倍濃度リン酸緩衝液5mL、精製水 残量

【効 能 又 は 効 果】

ぶり属魚類のα溶血性レンサ球菌症の予防

【用 法 及 び 用 量】

平均魚体重約100〜400gの健康なぶり属魚類に魚体重1kg当たり、1日量としてワクチン0.5mLを飼料に混ぜて5日間経口投与する。なお、3か月以上の免疫効果を得るためには、初回投与約3か月後、魚体重1kg当たり、1日量としてワクチン0.125mLを飼料に混ぜて5日間経口投与する。

【留 意 事 項】

本剤の製造過程において卵白リンゾームを使用しているが、製造後においては大半の酵素活性が失われているため、本剤を投与してもリンゾーム又はその塩類による魚類の表皮保護作用はない。

【使 用 上 の 注 意】
(基本的事項)

[守らなければならないこと]

(一般的注意)

1.本剤は、正しく使用しなければ病気の予防効果が得られないおそれがあるので、本使用説明書の【用法及び用量】に従って正しく使用すること。2.本剤は、指導機関(家畜保健衛生所、魚病指導総合センター、水産試験場等)の直接の指導を受けて使用すること。3.本剤は、ぶり属魚類のα溶血性レンサ球菌症を予防するために使用し、ぶり属魚類以外の魚又は動物には使用しないこと。

(使用者に対する注意)

1.作業時には防護メガネ、マスク、手袋、長靴等を着用し、本剤に直接さわらないよう注意すること。2.作業後、石けん等で手をよく洗うこと。

(魚に関する注意)

1.本剤の1回目の投与は、体重約100〜400gの健康なぶり属魚類に行うこと。2.魚の食欲、泳ぎ方、体色などの状態をよく観察し、次のいずれかに該当すると認められる場合は、使用しないこと。何らかの病気がかかっていることが明らか、又は疑われるもの。明らかに栄養障害のあるもの。異常遊泳やストレスが認められるもの。3.病気の治療を継続中又は治療後4日以内の魚には使用しないこと。

(反対側の説明事項も必ずお読み下さい。)

日 生 研 株 式 会 社

東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

オーシャンテクトLG

「経口用」



4.導入又は移動後4日以内の魚では、そのストレスが原因となって異常が認められる場合があるので、少なくとも1週間は新しい環境に慣らした後で本剤を使用すること。5.初回投与後3か月以降、病気の流行があると予測される場合は、第2回目の投与すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

1.外観又は内容に変色などの異常を認めたものは使用しないこと。2.本剤は、使用期間が過ぎた時は使用しないこと。3.本剤は、小児の手の届かないところに保管すること。4.直射日光、加温又は凍結は本剤の品質に影響を与えるので、このようなことは避けること。5.本剤は、冷蔵庫等の冷暗所に保存すること。6.本剤は、使用前によく振り混ぜて均質な状態にしてから使用すること。7.使い残りの本剤は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体の条例等に従い適切に処分すること。8.使用済みの容器は、地方公共団体の条例等に従い適切に処分すること。9.本剤を混ぜた餌が余った場合には、再使用せずに地方公共団体の条例等に従い適切に処分すること。

【使用に際して気を付けること】

(使用者に対する注意)

1.本剤が誤って眼、鼻、口に入った場合、又は皮膚についた場合には、流水等でよく洗い流すこと。必要があれば本使用説明書を持参し、医師の診察を受けること。2.容器の破損を防ぐため、強い衝撃を与えないこと。3.開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。

本ワクチン成分の特徴			
微生物名	出 所	微生物の生・死	アジュバント
ラクトコッカス・ガルビエ	人獣共通感染症の当否	有 無	有 無
	否	死	無

(魚に関する注意)

1.本剤の使用後、少なくとも1週間は魚の安静に努め、移動等は避けること。2.本剤を低水温で使用した場合には病気の予防効果が得られないおそれがあるので、水温が20℃以下の時には使用しないこと。

(取扱いに関する注意)

1.一度開封した本剤はすみやかに使用すること。使い残りの本剤は雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。2.期待する予防効果が得られないことや思わぬ副作用が発生するおそれがあるので、本剤には、他の薬剤を加えて使用しないこと。また他の薬剤を使用中又は使用後4日以内の魚にも使用しないこと。3.本剤と餌を混ぜる時に用いる器材はよく水洗した清浄なものを用いること。4.本剤を餌に混ぜる時には、餌の種類に応じて均一に添加できるよう、あらかじめ適量の水で希釈すること。5.本剤を混ぜる餌の量は、魚の飽食量の約8割を目安にし、すみやかに食べられる量とすること。6.本剤を混ぜる餌には、本剤が吸着する餌を使用すること。

(その他の注意)

欧米において人の心内膜炎などの分離例が報告されている。

包装: 1 本 500mL

製品情報お問い合わせ先

日生研株式会社 製品係 〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1
TEL 0428-339-1009 FAX 0428-31-6696

製造販売元: 日 生 研 株 式 会 社 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記 製品情報お問い合わせ先に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。

日 生 研 株 式 会 社

東京都青梅市新町9丁目2221番地の1